



議会だより

主 な 内 容

定例会・臨時会の概要p 2 / p 3
市長施政方針p 4 / p 5
平成16年度予算p 6
請願・陳情・要請等の審査経過報告p 7

一般質問p 8 ~ p26
県下町村議会議員研修会報告p27
傍聴席から・編集後記p28



友好都市諏訪市から寄贈された御柱



第2回定例会一般質問の様子（6月22日）

定例会の概要

平成十六年第二回吉岐市議会定例会は、六月十一日から三十日までの二十日間の会期で開かれ、一般会計二百十億二千五百万円、特別会計百三十二億六百十三万六千円をはじめとする三十三議案、請願一件、陳情三件、要請一件、発議三件を審議しました。

第一日目には、まず議長 一般会計、特別会計及び長の諸般の報告に続き市長より「すべての人が吉岐に住んでよかつたと実感できるまちづくりを目指す」施政方針が示されました。次に議案の上げ及び説明がされました。

十四日には議会運営委員会、十六日には議案に対する質疑、十七・十八日及び二十一・二十二日の四日間にわたり三十七名による一般質問が行われました。二十三・二十四日は常任委員会が開かれ、委員会付託の案件を審査、二十五日は予算特別委員会において一般会計予算の審査が行われました。

そして最終日の三十日には平成十六年度吉岐市

「吉岐公立病院に人工透析室の設置を求める請願」は全会一致で採択され、「非核・平和吉岐市宣言の制定」等二件の陳情と一件の要請を採択しました。「県地方最低賃金の引き上げ等を求める陳情」については、不採択となりました。

また、議員発議による「公立病院用地、都市計画税、今宮住宅建設に係る特別委員会の設置について」は反対・賛成討論の末、起立少数で否決され、二十日間にわたる定例会を終りました。



臨時議会の概要

去る四月十八日に行われた市長選挙により、初代長田市長が誕生して以来初めての、平成十六年第二回吉岐市議会臨時会が、五月十九日の一日を会期とし開かれました。

日程の冒頭で長田市長より所信表明演説が行われ、その後、条例の一部改正や十五年度一般会計及び特別会計の暫定補正予算ほか八件の専決処分承認及び、吉岐市監査委員条例の制定など二件の議案が審議され原案の通り可決承認しました。

また、人事案件として今後市長とともに吉岐市の牽引役となる、助役及び収入役の選任、合わせて監査・教育・固定資産評価審査委員等、各行政委員会の委員の選任について十四件が同意され、次に選挙管理委員及び補充員の選挙がなされました。



教育長

須藤 正人



収入役

布川 昌敏



助役

澤木 満義

市長施政方針



総務関係

行財政改革の推進

民間を含めた行財政改革推進委員会を立ち上げます。

地域審議会の開催

旧町の区域ごとに委員十五人以内で構成の第一回地域審議会を合同で開催しました。なお、第二回目以降については、各支所単位で開催します。

平成十八年度土地評価替

平成十八年度は三年に一度行われる固定資産評価替基準年度です。現在、土地評価替作業を円滑に進めるために、宅地に係る基準地及び主要な標準地の状況資料を県市町村課に提出し、評価替えの準備を進めています。

市民生活関係

健康づくり

健康な島の実現を目指します。

保健・医療・福祉が連携した健康づくりの推進
地域医療体制の確立
保健予防体制の充実
安心して子供を生み、
育てられる環境づくり

国民健康保険特別会計

歳入では被保険者の方々が納付される保険税の収入が基本です。歳出では、保健、福祉と連携し保健事業の推進と疾病の予防及び医療費の抑制に努めます。

老人保健特別会計

保健指導体制を堅持し、地域に溶けこんだ健康教育、健康相談等を行い、疾病の予防と医療費の抑制を図ります。

介護保険事業特別会計

介護サービスを必要としている高齢者の方に、適正なサービスの提供ができるように努めるとともに、介護を必要としない元気な高齢者の方の介護予防事業にも保健指導と連携して取り組みます。

一般廃棄物(ごみ)処理の基本方針

次の基本計画を策定し、計画、整備を進めます。
一般廃棄物処理基本計画
ごみ処理施設整備基本計画
汚泥再処理センター整備基本計画

生活保護業務

吉岐市発足に伴い、生活保護業務が長崎県から移管されました。法令等に基づき公正・適正な業務の執行を図ります。

産業経済関係

密漁船や違反操業の早期発見、早期通報体制の確立に努めます。

農業振興

安定した収益性の高い営農形態の確立と意欲ある多様な担い手の育成、確保を推進します。また、

地域の特性を活かした特産品づくり、産地づくりによる生産拡大、新鮮で安全・安心な食料供給体制の強化など、新たな時代に対応した農業・農村の総合的な整備推進に取り組みます。

畜産振興

優良系統雌牛の増頭推進等を行い、「繁殖牛生産の島吉岐」として畜産振興を積極的に推進します。

水産振興

漁業の生産向上を目指す漁船・漁業施設の近代化整備事業を継続します。

建設関係

土木課事業

道路事業は、継続事業三十路線、新規四路線を整備します。

下水道事業

公共下水道中央処理区の処理場は、機械設備、電気設備工事を行います。また、管渠の埋設工事

は、中央処理区の国道東地区と県道郷ノ浦芦辺線の一部を計画しています。

簡易水道事業

三島地区簡易水道は、海底送水管の布設替えを行います。また、箱崎・国分地区簡易水道の配水管布設替を行います。

漁業集落環境整備事業

瀬戸地区の排水管路施設、集落道路等を施工中です。今年度は、処理場の実施設計と瀬戸浦西町地区の管渠埋設工事を行います。

また、商工業界の創出支援のための運営費の支援、金融資産並びに利子補給制度を継続します。

教育関係

「教育のしま吉岐」の確立を目指す

学校、地域、行政の連携のもとに生涯を通じて学び、調和のとれた心豊かな市民の育成に努めます。また、国指定特別史跡「原の辻遺跡」の復元整備に関する事業並びに、

（仮称）長崎県埋蔵文化財センター、（仮称）支国博物館の建設などにも取り組めます。

公営住宅建設事業

住宅マスタープランに沿い、新規団地の建設、既設の公営住宅の建て替えを計画していきます。

また、管渠埋設工事を行います。

病院関係

吉岐公立病院

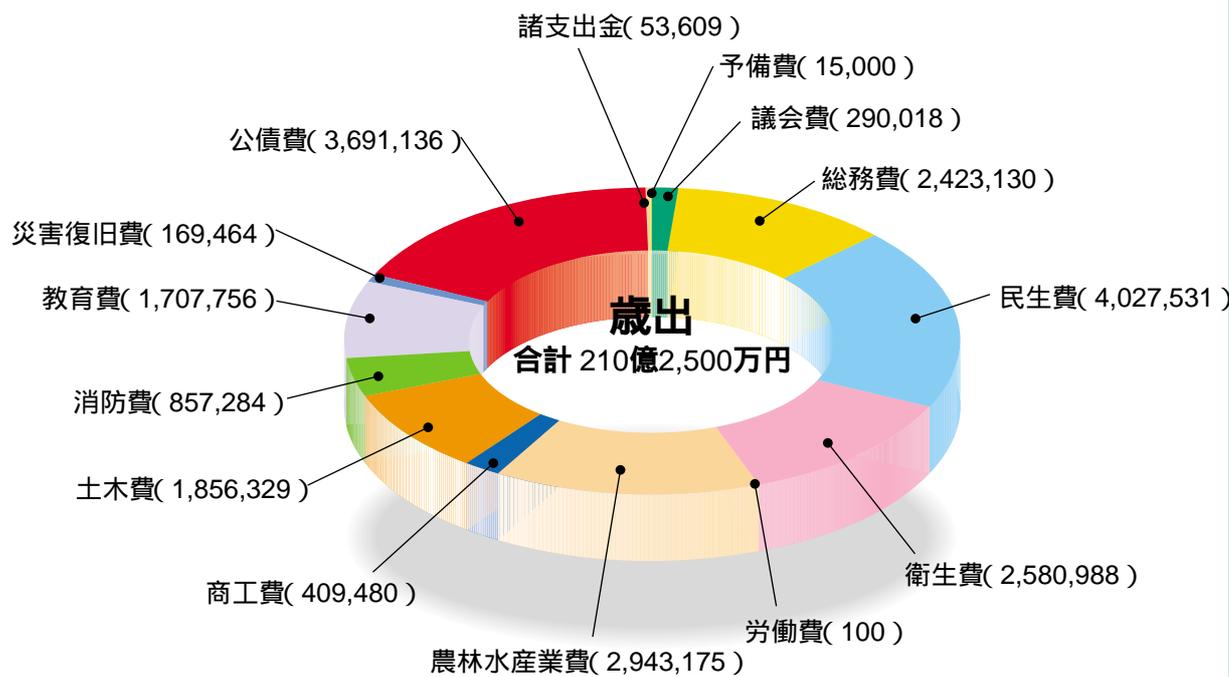
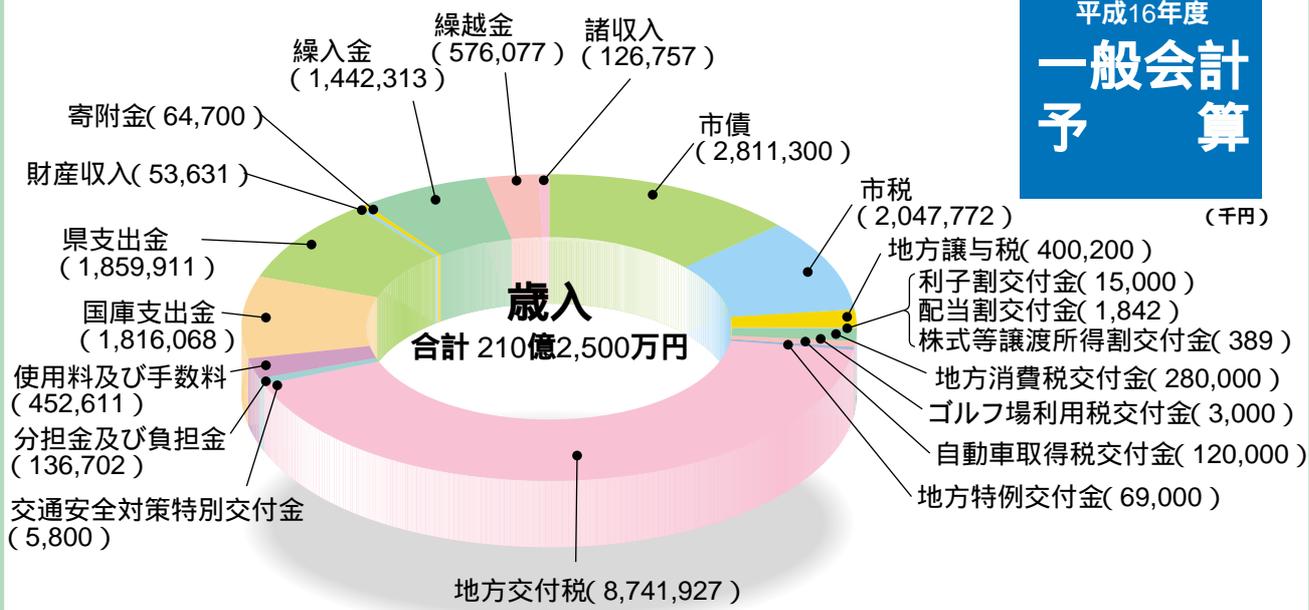
地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公正な医療を提供します。また、地域住民の健康の維持増進を図り、

地域医療の発展に貢献します。病院の建築は、平成十七年二月末の完成に向けて進んでいます。

かたばる病院

保健、福祉分野との連携により、高齢者等に対して質の高い医療を提供するために療養型病床を設置し、看護度の高い療養を必要とする患者を受け入れています。

平成16年度
**一般会計
予 算**



国民健康保険事業	3,749,108千円	精神障害者地域生活支援センター事業	21,443千円
老人保健	4,242,271千円	精神障害者福祉ホームB型事業	21,724千円
介護保険事業	2,210,272千円	三島航路事業	112,426千円
簡易水道事業	1,222,821千円	農業機械銀行	56,267千円
下水道事業	597,244千円	芦辺港ターミナルビル事業	6,282千円
漁業集落排水整備事業	293,058千円	病院事業	収益的收入 2,848,434千円 支出 2,848,434千円 資本的收入 3,746,858千円 支出 3,799,644千円
老人ホーム事業	249,278千円	水道事業	収益的收入 150,056千円 支出 139,856千円 資本的收入 11,137千円 支出 73,485千円
特別養護老人ホーム事業	423,942千円		

【請願・陳情・要請等の審査経過報告】

要請 第一号	陳情 第七号	陳情 第六号	陳情 第五号	請願 第一号	受理 番号
「地方分権を確立するための真の三位一体改革の実現」に関する対応についての依頼	国の財政再建優先の「三位一体改革」でなく、地方分権のための地方税財政改革を進める意見書採択を求める陳情	長崎県地方最低賃金の引き上げと最低賃金制度の抜本改正を求める陳情	非核・平和と杵岐市宣言の制定についての陳情	「杵岐公立病院に人工透析室の設置」を求めるための請願	件名
全国市議会議長会 事務総長 佐藤 達三	長崎県自治体労働組合連合会 執行委員長 川崎 一宏	長崎県春闘共闘会議 議長 横林 和徳	非核の政府を求める 長崎県民の会 代表 中村 尚達	杵岐腎友会 会長 中尾 嘉博 杵岐人工透析患者を支える会 会長 町田 正一	提出者
第八十回全国市議長定期総会における決議の趣旨を踏まえ、意見書の提出を求める。	三位一体改革においては、地方自治の本旨が実現される地方税制改革を進める意見書の提出を求める。	最低賃金制度に関する事項について、県労働局及び国に対して意見書の提出を求める。	杵岐市の新設にあたり旧四町の「非核平和宣言」を継承・発展させ、「非核平和と杵岐市宣言」を制定されるよう陳情する。	現在、杵岐市内の人工透析患者が受けている二つの病院は満床状態にあり、島外で人工透析を受けている患者もある。患者が安心して治療を受けられるよう、公立病院に十床程度の人工透析室を設けるよう働きかけをお願いする。	請願・陳情・要請の趣旨
総務文教 常任委員会	総務文教 常任委員会	総務文教 常任委員会	総務文教 常任委員会	厚生 常任委員会	常任委員会 審査付託等
採択	採択	不採択	採択	採択	委員会
採択	採択	不採択	採択	採択	本会議
					結果

一 般 質 問

新生沓岐市政 37名が登壇！

末永 浩 議員



Q 合併特例債で
本庁舎を

現在四支所に事務局が分散、本所も狭隘^{きょうがい}で全てが効率よく機能していない。本庁舎の建設が急務である。合併特例債の運用は慎重でなければならぬが、この事は優先すべきである。合併協議会での確認事項を尊重し、効率的な行革を一日も早く実現するために、市長の決断を期待する。

A 長田市長

庁舎をはじめ、最終処分場、ごみ処理施設等、大所高所から考えて合併特例債は活用したい。庁

舎の建設については、行財政改革を進める中で、組織・規模等検討したい。また、将来利益を生み出すようなものに活用できないか考えたい。

となる。往復割引の意味がない。一社独占運行で他に方法がない一般庶民が多大の迷惑と余分の出費を強いられている。一便でも復活を願いたい。

Q 九郵の
ダイヤ改正

四月より、月に二回博多芦辺折り返し二便が、点検の理由で運休している。そのため次の便で帰れば夜十一時を過ぎる。早く帰ろうと思えば三千百三十円追加して高速船

A 長田市長

運休については、エンジン点検・整備のためやむを得ないとのことだが、運休の月二回を一回にすることにについては要望したい。



博多へ向け出港（芦辺港にて）

山下 澄夫議員



Q 大型フェリー
就航はいつに

印通寺、唐津間に就航
予定の大型フェリー（約
千トン）による印通寺港の
整備計画について。

港入口の波止を片側十
ばずつ、合計二十ばり切
開くと聞くが、消波ブ
ロックのテトラを取り除
きケーソンになれば、ま
すまず波が立つ。外防波
堤など波対策が急務では
と考えるが。

ターミナルビルの待合
室や乗降口の増築が建替
の計画はあるのか、就航
の予定はいつ頃か。

A 長田市長

現在の港湾施設につい
ては、波対策としては許
容範囲内にある。代替港
の必要はない。

ターミナルについては、
増築してボーディングブ
リッジを設置する。新造
船就航の時期は平成十九
年四月一日の予定。

Q 祝町の
堆積砂処理

祝町の元砂置場付近の
海岸は、堆積した砂で水
深が非常に浅くなり危険
な状態にある。早期の対
策を。

A 長田市長

海底堆積砂撤去は県が
調査の上、実施すること
になる。

田原 輝男議員



Q 今後の
ゴミ処理計画

ゴミ処理問題で、郷ノ
浦町環境管理センターの
地元住民との契約が平成
二十一年三月までとなつ

ている。今後どのように
対処されるのか。次に焼
却灰について、郷ノ浦、
芦辺は県外に依頼してい
る。石田、勝本は自己処
理しているが、残余量は
どのくらいか。このよう
に考えると吉崎市も、焼
却施設、最終処分施設が
必要となってくる。今後
の計画は。

A 長田市長

広域焼却施設整備につ
いては、建設候補地を十
七年度決定して、早くて
二十二年度中の供用開始
予定。焼却灰の処理につ
いては、焼却場に併設し
た施設を計画したい。

Q 勝本し尿処理
の計画

この施設は勝本分だけ
の処理か、市全域とする

A 長田市長

勝本支所区域内の処理
施設として建設する。液
肥化処理施設方式は環境
に配慮した再生処理であ
る。

Q 武道館建設

本年三月八日にこの件
については要望書が提出
されているが、どのよう
に考えるか。

A 長田市長

庁舎の位置や同種の施
設の状況、財政状況等総
合的に考えたい。



郷ノ浦町環境管理センター



石田町の元砂置き場付近（印通寺港）

坂口健好志議員



軽く地域全体で物心両面の大胆な支援が必要。また、若者が吉岐に住み働ける職場の拡大策を積極的に。

A 長田市長

Q 少子化対策・定住促進対策
吉岐も少子化は深刻で喫緊の最重要課題である。

こどもが多い人ほど支援は厚く、保育料等負担は

保育料については、一部負担の不均衡があるが、財政状況等勘案して改善に努めたい。
雇用対策については、地場産業の後継者、起業

者支援するとともに、企業誘致のため積極的な働きかけと支援に努める。

Q 学校給食に地場産品を

今ほど食の安全が叫ばれている時はなく、保護者の不安は深刻である。吉岐

A 長田市長
数量の確保や価格の問題はあるが、努力を重ねたい。

Q 観光立島をめざし各産業の振興を

観光産業の発展は、各産業の発展につながり、吉岐飛躍の原動力になる。行政と各産業の連絡協議会等を設け、相互利用のシステム作りや効果的な

A 長田市長

修学旅行、スポーツ合宿、大型観光船等の誘致とともに、農・漁業に体験型観光をからめ、これに原の辻遺跡を加えた長期滞在型への取り組みを進める。
県の福岡事務所に職員を派遣し、宣伝

も行う。
航空問題にも積極的に取り組む。



みんなで美味しい給食（霞翠小学校にて）

橋本 早苗議員



Q 合併後の教育行政

小規模校が目立つ中、吉岐の教育行政も一本化される。合併に伴う学校規模に関する施策は、

小中学校区の設定に関する規則の見直しについての観点と具体的な推進について、どう考えるか。
小規模校が増えると、ささやかれるのが統廃合の問題である。小中学校の統廃合について、どのように考えるか。

A 長田市長

合併後の業務が落ち着いたら統合問題にも取り

組む必要がある。
小学校の統合については、住民感情、通学距離等も問題。また、地域の核でもあり簡単に結論は出せない。
中学校については、良い意味で競争心も必要と考える。統廃合について研究の必要がある。

Q 吉岐の子供達を護れ

子供の権利条約が批准

A 長田市長

人権教育については、目的を一つにする組織の

タイアップが出来ないか検討してみたい。



この笑顔をいつまでも（盈科小学校にて）

大久保洪昭議員



Q 早期の
庁舎建設着工

現在の本庁、四支所体制では、事務所が島内に散在して、職員的能力が十分発揮できず、円滑な

職務状態とはいえない。まして経費の無駄であり、最も大切な住民サービスの低下につながる。また全国の合併の進み具合では、特例債の財源も危ぶまれる。合併協議会の決定を尊重し、早期の着工を望む。

A 長田市長

現在の本庁と四支所の体制がうまく機能してい

るとは言えない。組織・機構の規模等含めて検討したい。

Q 遊休地の
活用と処理

全国の自治体では、財源確保に悩まされ苦慮している。吉岐市も同様である。そこで旧四町より持ち込まれた土地財産の整理を早くし、遊休地は個人住宅用地、駐車場などの多目的利用として民

A 長田市長

遊休地で造成して払い下げが可能な所については、積極的に取り組みたい。

小金丸益明議員



Q 幼保一元化で
環境整備

構造改革特区制度を導入し、幼保両施設の機能を相互補完させ、保護者のニーズに適応した利便

性の高い保育施設を実現できないか。また、石田町の子育て支援策を踏襲するために、保育料の抜本的見直しを行い、保護者の負担軽減を図るべきであり、今後二年間に及ぶ石田町と他の三町における保育料の不均衡を是正し、市立保育所として、早期に平準化すべきであると思う。

A 長田市長

幼保一元化については、国にも働きかけたい。教育委員会としては国の基本構想を待つて対応したい。

保育料については、財政状況を考えながら検討したい。

A 長田市長

市役所部内でメリット・デメリットについて検討してみる。

Q 福岡市との合併検討は時期尚早

選挙公約において福岡



学童保育に通う子どもたち（郷ノ浦町内）



市有の遊休地（勝本町白滝公民館付近）

菊田 光孝 議員



今年は五年毎の農振地域見直しの年であり、耕作面積の維持増反を図るといふ観点から都市計画区域内の見直しに取り組むべきではないか。また、作業の進捗状況は。

Q 福岡事務所への職員派遣

職員を派遣することに県の考えはどうか。施政方針の中の、民間企業との連携で活性化を図る必要性について具体的な施策はどんなものか。

A 長田市長

県はいつからでも受け入れ可能との回答を得ている。行政と農・漁協の守備範囲は違うが、連携は重要であり、関係団体と詰めていく。また、福岡はもちろん、

は全員に周知する。

において、貴重な人材となり得る大都市圏の吉岐出身者の会に積極的に手伝うべきでは。

東京等の吉岐人会と協力、連携をとりたい。

Q 農業振興と農振地域の見直し

郷ノ浦町都市計画区域内には、開発の遅れが原因の一つと考えられる相当地面積の休耕地がある。

A 長田市長

農業振興地域の見直しについては、八月下旬見直し開始となるが、関係地区の意見を聞き、結果

富田 邦博 議員



Q 圃場整備地のその後

平成四年度より始まった県営大型圃場、面積約三百四十〇鈔（芦・石・郷）受益者約八百七十名

の事業もほぼ完成。各地区に生産組合等が組織され、水稲や麦類の作付けが効率よくされているが、大型機械の老朽化が進み修理代も増えている。基幹産業である農業を支えるためにも機械更新時に助成が必要ではないか。

A 長田市長

当初購入時に積み立てを指導していた。原則として大型機械更新補助はしない。財政事情もある。組織については吉岐土地改良区等関係機関とも協議したい。

Q 市庁舎建設計画

A 長田市長

合併協議会で場所は決定されているが、今後どのように進めていくのか。行政改革推進委員会の結果を待つて、規模等検討したい。



大型圃場での大豆栽培（芦辺町深江触）



長崎県福岡事務所（福岡市中央区渡辺通り）

山下 正業議員



れている。今後の事を考えると、年金受給者が年金証書だけの予算で老人ホーム等で暮らせる時代にすべきだと思う。

証書年金社会の実現を。

健福祉計画の中に取り入れたい。

福祉ホーム部屋数の新設・増設計画を願う。

六十五歳以上の高齢者の生活苦と犯罪の実態について、どう考えるか。

シルバー人材事業の中で人材活用も検討する。

長田市長

生活保護制度を含め対策を講じる。

分散型職業介護を含め福祉事業で産業の活性化を。

老人ホーム（勝本町本宮南触）

福祉行政対策は

本市における新しい事業年度が始まったが、福祉行政については、国や県と共に財政不足が叫ば

老人ホームについては、待機者がいる状況。今後の施設整備については、平成十七年度策定の介護保険事業計画及び老人保

介護保険事業計画及び老人保健福祉計画の中で検討する。

現在の種苗生産及び中間育成に加えて、定着性の高い魚種の種苗生産に取り組みたい。専門職の養成にも取り組みたい。

環境磯焼け対策には、調査や磯焼け状況調査が必要になる。今回は予算計上している緊急磯焼け対策モデル事業の結果を待つて対応する。海面養殖についても検討したい。

馬場 忠裕議員



今後の水産振興

沿岸の漁場の状態を把握するため、漁場台帳を早急に整備してもらいたい。

次に吉岐地区栽培センター構想では、アワビはもちろんウニ、魚、海藻まで手掛ける事になると思う。そのためには専門職の後継者の育成が急務であると考ええる。

また磯焼け対策については、三年計画で取り組む事になっているが、郷ノ浦町では既に調査済み並行して藻場造成を行ってほしい。

海面養殖をすれば低コストで大量に収穫でき、大規模にすれば潜水業者一本釣り、延縄、刺網漁には即効性があるはず。是非実行してほしい。

環境磯焼け対策には、調査や磯焼け状況調査が必要になる。今回は予算計上している緊急磯焼け対策モデル事業の結果を待つて対応する。海面養殖についても検討したい。

長田市長

台帳整備は完全ではないので、整備してマス

海面養殖をすれば低コストで大量に収穫でき、大規模にすれば潜水業者一本釣り、延縄、刺網漁には即効性があるはず。是非実行してほしい。



アワビ種苗センター（郷ノ浦町大島）

豊坂 敏文議員



Q 特養ホームの増設

新市合併時に町村組合の引き継ぎの中の「特養ホーム」の増設に対し県知事に強く陳情願いたい。

A 長田市長

特別養護老人ホームの整備については、市が策定する整備計画に基づき、県に要望をする。

Q 市税について

固定資産税値の見直し作業の進捗状況について標準地の見直しはしたのか。見直し作業に対し納税者への説明は、また未還付、返還に対して、今後の対策はいかにするのか。

A 長田市長

体制強化を含めた未納対策を講じる。標準地の評価価格の見直しはしていない。未還付の方に対しては十分に説明をし返還する。

Q 本庁舎建設計画

建設場所は合併協の決議を重視し、亀石にする答弁を受けたが、九月定例議会に造成費と実施設計に係る予算計上を。

A 長田市長

庁舎建設については、組織・機構の規模等含め検討したい。

Q 給与格差是正

新公立病院開設に伴なう、かたばる病院の看護士等の給与格差是正の早急な対応を。

A 長田市長

吉岐広域圏町村組合に

おける合併前の協議を踏まえ、長崎県離島医療圏組合の状況も参考に早い時期に是正を図りたい。

Q 家畜診療所人事

家畜診療所の人事関係について、職員辞令の相違と往診旅費を特殊勤務手当にした理由は。

A 長田市長

雇用については、合併前の状況による。旅費については全て支給しないことで調整しており、実績にもとづき手当てとした。

眞弓 倉夫議員



Q 国の指定区間の見直し

平成十二年四月告示、吉岐・下県一体指定は昭和三十年以後の貨客船時代の幻影であり、高速大

A 長田市長

平成十二年四月告示、吉岐・下県一体指定は昭和三十年以後の貨客船時代の幻影であり、高速大

指定区間及びサービス

基準の見直しについては、年一回県知事に対し、意見紹介をすることとされている。時機を見て県に

Q 行財政改革

各種補助金負担金の見直しと数値目標の設定が必要。

A 長田市長

行財政診断等を行い、行政組織の見直しを図る。また、事務事業の統廃合、業務の委託化等も行っている。

行財政

改革推進委員会に諮問し、その答申

を期待したい。今後策定する行財政改革大綱では、数値目標を設定する。



特別養護老人ホーム



フェリーへ乗船（芦辺港にて）

大浦 利貞議員



ネットによる販売を推進すべき。農協と漁協の協力を。力体制を作りあげ、センサーとなる作業場の確保を。

A 長田市長

ネットによる販売を推進すべき。農協と漁協の協力を。力体制を作りあげ、センサーとなる作業場の確保を。

Q 海底遺跡の活用

猿岩の沖合い海底に人工的な構造物が確認され、北限の珊瑚礁と共に島外のダイバーに評判になっている。「出合いの村」

利用し、ダイバーが撮影した写真も展示出来ないか。また、近くに船着場の確保を。

A 長田市長

ダイバーが利用出来る船着場の確保については研究したい。また、写真の展示は可能である。

Q 地域活性化のための職員の役割

地元の飲食店を利用することは街の活性化に貢献し、市民の声も聞ける不況の時こそ活性化に貢献すべき。市長は率先し

て活性化に努め、職員にも督励しては。

A 長田市長

そのように進めたい。



吉岐出合いの村から海を望む (郷ノ浦町新田触)

山内 道夫議員



インターネットによる特産品の販売、吉岐のように農産物、海産物を一緒に届けられる所は他になく、消費者も好都合なのでインター

千九百トで、その処理費を試算すると約三千六百五十万円と思われる。

ては現施設を有効活用する。焼却灰の処理だけを一元化し、溶融炉建設等も必要では。

と協議して決めたい。

Q 今後のゴミ問題

吉岐市のゴミ処理は、一年間で約七千四百ト、施設の処理能力は二倍である。また焼却灰は約一

A 長田市長

ごみ処理施設整備基本計画の中で、広域施設として考えたい。

焼却灰の処理については、いくつかの処理方法があると思われるので、最も適した方法を、議会



石田町環境美化リサイクルセンター (石田町池田仲触)

吉田 寛 議員



ないか。

A 長田市長

船賃が安くなければ、可能と考えるので、指定区間解除に向け、要望したい。

通勤補助については、芦辺町のみ制度があったが、合併により廃止となった。

吉岐会館の活用については、検討したい。

Q 福岡事務所の職員派遣

特産品、観光、文化などのアピールは積極的に取り組み、また、福岡市内二百三十八校十一万四千人の小中高生の研修旅行誘致を。

島内の施設整備の充実もはかりながら、大学等にはスポーツ合宿の誘致をしては。

A 長田市長

積極的に働きかけたい。

Q 学校の危機管理

生死にかかわる重大な事件が頻発する現状は、外部からの侵入者による殺傷事件に限らない。いじめや校内暴力、学級崩壊、性的虐待、脅迫行為、自殺、事故死、自然災害、放火、教師の不祥事等、どの学校にも起こる可能性が高い。

どのような対応をしているのか、遊具等の安全点検はできているか。

A 長田市長

学校独自の緊急マニュアルを作成して対応する

とともに、そういったことが起きる前の未然防止に力を入れている。



授業風景（霞翠小学校にて）

中村出征雄 議員



Q 下水道と合併浄化槽

郷ノ浦町以外の下水道についてどのようにお考えか。下水道は膨大な投資と維持管理費は全額公債負担。合併浄化槽の方

A 長田市長

地域体制が整えば努力したい。維持費の助成は現在考えていない。

Q 循環型社会の推進

ゴミ処理費に多額を投入するよりゴミ自体の減量が大切。市から布製の買い物袋の無償配布を。空き缶も一升瓶、ビール瓶同様に十円を上乗せし、回収時に十円支払うデポジット制導入を。

Q 合併特例債

合併特例債の用途及び全体計画策定の時期は。議会への提示時期は。合併特例債の交付税措置の算定方法は。

A 長田市長

旧郷ノ浦町で実施したが、利用者が二割にも達しなかった。

A 長田市長

用途については、限定

されている。具体的な計画が出来た時点で議会と協議する。交付税措置は、

許可額により参入される。（理論参入）



建設中の中央水処理センター（郷ノ浦町）

近藤 団一 議員



九州大学村
設置構想

過去二ヶ所ほど夏期の
大学キャンパス村を見聞し
たり、青少年施設での大
学生との懇談の中で考え
たものであり、年間を通

して大学生のいくらかを
常駐させる事により、島
の活性化と観光振興の向
上を睨んだものである。

国が県のモデルケースと
して取り組み、九州、山
口の約六十六大学、約十五
万の学生が対象、当初十
大学を選定、一大学当た
り年間一人、三百日の滞
在を義務づけるもの。

ハードルは高いが、検討
に値する。

観光振興対策

島から人を呼ぶのでな
く、島を体験した人に、
宣伝隊員になってもらい
一〜二年その任に当たっ
て頂く。そこで核となる
人を今回三百人無料招待
するもの。

長田市長

おもしろい企画だが、
観光協会とも協議したい。

九州郵船の障害
者、高齢者対策

まずは市・九郵・県と
相談をし、どういうの方
策が望ましいか議論をし、
実行すべきでは。

知と、新ターミナル計画
では配慮するとともに、
唐津港につ
いては要望
したい。

エレベーターの利用周



エレベーターの利用を（郷ノ浦港ターミナルビル）

市山 和幸 議員



浄化槽整備
推進事業

老岐市においての汚水
処理事業は財政面で将来
的に不安があるので、環
境浄化槽を推進していく

必要があると思う。

現在市で取り扱ってい
る浄化槽の個人負担額は
六割であるが、市町村設
置型では一割である。個
人負担の軽減があれば多
くの設置希望者がいると
思うが、今後導入の考え
はあるか。

長田市長

浄化槽を市が設置し、
維持管理も市が行い使用

料を市が徴収することに
なる。財政的にやってい
けるか疑問であるが、検
討課題としたい。

海岸線漂流物
の撤去

本来海岸線の清掃はボ
ランティアで行うのが理
想であるが、広範囲にわ
たる大量の漂流物を撤去
するには、現在のボラン
ティア中心の対応では限
界がある。市で予算を計

上して、島内の民間業者
に撤去清掃を委託する方
法は取れないのか。

長田市長

平成十六年度で県補助
金がなくなるが、事業継
続の要望をする。県の予
算が出来ない場合は、単
独でも継続したい。



海岸清掃（郷ノ浦町里浜海水浴場・7月19日）

立石 和生議員



影響力を及ぼしている事は市長も十分認識されていると思う。

これはまさに当時の失政のつけが回ってきたものといえる。

Q 数年間にわたり虚言と怠慢の旧郷ノ浦町税務行政は、誕生まもない吉岐市政に大きなマイナスの

山積みする諸問題の中で、平成六年度に端を發した固定資産評価見直しは法に基づいて誠意をもって取り組みをしていない事に尽きる。当時、県からも標準宅地の見直しを求められて

いるが、当時の課長は頭ごなしに拒否し、町長も見直しをしない旨、担当課長などに指示している。まさに合法的な見直しがなされていない。

言うまでもなく、税は公平でなければならぬ。未だに続く固定資産税の事件的問題を實直に受け止め、抜本的対策を講じるとともに、体質改善すべきが急務であると考

える。

A 長田市長

郷ノ浦町の平成六年度からの住宅、雑種地の評価見直しについては、旧郷ノ浦町議会で調査、議決済みであり、二月から返還、還付事務を行っているが連絡が取れない、納得されていない方などの分について還付、返還が出来ていない。

郷ノ浦町の平成六年度からの住宅、雑種地の評価見直しについては、旧郷ノ浦町議会で調査、議決済みであり、二月から返還、還付事務を行っているが連絡が取れない、納得されていない方などの分について還付、返還が出来ていない。

今西 菊乃議員



Q 保育料の見直し

旧石田町は以前国の基準が上がった時、一般財源より補助をして保育料を上げなかった。

A 長田市長

財政状況等勘案し検討する。

若い所得の低い親の負担を軽減するためにも旧石田町方式を取り入れるべきである。将来は幼保一元化も考

Q 輸入野菜の研究の必要性

輸入野菜は作られ方も保存の方法も大変危険な状態である。

実態を知り、台所を預かる女性がこの問題の研究をし、地産地消の大切さを知り、農漁業の振興・観光の目玉とするべきである。

A 長田市長

研修会等検討したい。

Q 公立病院の情報公開

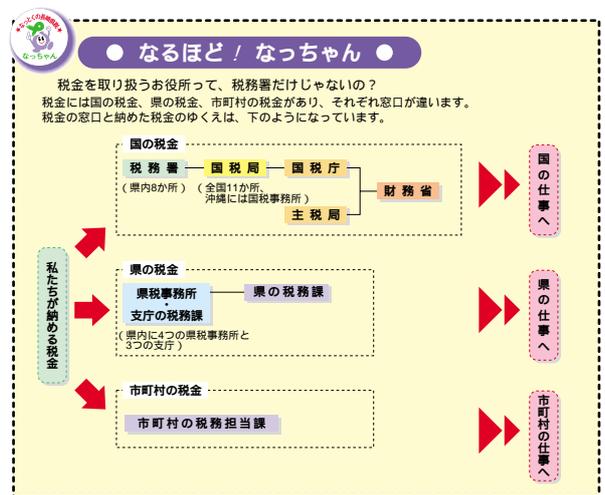
新設されている公立病院の情報については何も市民に公開されていない。内容について早く市民に公開し不安や迷い、疑いを取り除いてほしい。

A 長田市長

市政だより等で公開していく。



工事が進む吉岐公立病院（郷ノ浦町桜川地区）



県作成の税に関するパンフレット

原田 武士議員



Q 都市計画税の廃止

一昨年十二月、旧郷ノ浦町は都市計画税の廃止を決めた。更に下水道工事の受益

者負担についても徴収しないとしている。

この事は合併協議会の協定違反でもある。今後の問題は計画税の五千二百万円を毎年市の一般財源より繰り入れることになり、島民にとっては新たな負担となる。

A 長田市長

地元自治会からの要望

によって、旧郷ノ浦町議会で議決され、合併協議会に対しても議会提案前及び議決後通知がなされている。

Q 給料格差の是正

公立病院看護士の給料格差の是正については、二年前より、私達も是正を要求してきたが早急な解決を求める。

A 長田市長

吉岐広域圏町村組合における合併前の協議を踏まえ、県離島医療圏組合の状況も参考にして早期に是正したい。

Q 危険な芦辺港の乗下船

芦辺港ターミナルの乗下船階段は、身障者や老人、子供には非常に危険である。

早急な対処を要望する。

A 長田市長

危険性がある物は、改善すること検討したい。



現在の吉岐公立病院

吉富 忠臣議員



Q 自己財源の確保

未収金・滞納金の徴収対策と、市長就任後の取り組みは。また、市へ引き継がれた金額はいくらであるか。

A 長田市長

十五年度末現在、市税二億五百万円、国保税二億四千五百万円の滞納がある。未収金対策として直接面談を基本に、債権調査や国保税では被保険者証の交付制限等を行い、解消に努力する。

Q 交通渋滞解決対策

九州郵船の福岡待合所前の交通渋滞解決策とジェットfoil乗船場所が遠すぎるとの不満が

出ている。航路対策協議会の対応は。

A 長田市長

早急に航路対策協議会を設置し、要望したい。

Q 少子化と学校行政

少子化社会に対応して学校選択制、区域外通学将来的な統合を含めた計画などについては、子供の目線で取り組んでほしいが考えは。

A 長田市長

慎重に研究を進めたい。

Q 各施設の利用拡大

交流人口拡大推進のためには、地元諸団体との共用を考えると定休日の廃止と利用時間の延長を考えては。

A 長田市長

地域の実情もあり旧町のままとしているが、規

則の変更は可能であり検討する。

Q 勝本し尿処理計画

施設の利用地域は全島内であるのか、また財源はなぜ合併特例債を充てているのか。

A 長田市長

補助事業として進めてきたが、国の補助対象からはずれるため、合併特例債により整備することとした。



まなびの館（芦辺町諸吉大石触）

立石 一郎 議員



は、海運、漁船、商工会、地元公民館等の関係者に議会議員が加わり、十六名で港湾整備促進委員会を設立し、諸問題を協議してきた。そんな中、九州郵船の大型（約千トン）フェリー運行計画が持ち上がり、印通寺港の整備が急務となり協議中である。合併したからには、今後は吉岐市に移譲されるわけだが、これまでの問題や地元の事情をよく

Q 港湾整備促進委員会存続

印通寺港は、大型船舶、漁船、九郵フェリーの運航する特殊地方港湾である。そのため旧石田町で

理解している元石田町港湾整備促進委員会を暫定的でも市長から委嘱出来ないか。

A 長田市長

吉岐全体を視野に入れた委員会を設置する。

倉元 強弘 議員



Q 吉岐市庁舎建設

吉岐市が合併をして早三ヶ月が過ぎ、長田市長の当選から二ヶ月が過ぎた。現在の仮の庁舎は、

狭くて各課が二階、三階と別れている。また、四支所に別れている。これでは行政上も非効率であり、行政改革はもとより財政改革も出来ないと思うし、市民も不自由をしている。市長も「何とかしたい」との考えのようだ。合併して吉岐が一つの市になった証として、シンボリックな庁舎を、一日も早く建設計画を立案し、目標を定めてこの問

A 長田市長

題が進行するよう、要望する。亀石の場所は民家移転も終わっている。土地も平坦でいつでも造成に着工できる。市長の決断を。

限があるが、庁舎建設は問題ない。



本庁舎における事務室の様子



印通寺～唐津間の大型化が進められているフェリー

今西 徹也 議員



Q 地域に即した
教育行政

市長は議会冒頭の施政方針の中で「教育の鳥吉岐」の確立を目指すと言われた。地域に適応し

A 長田市長

地域に即した教育と吉岐市全体の教育水準を高める。具体的には、心の教育の推進、確かな学力

た教育方針、努力目標とはどの様なものか。また、社会体育の一環としてジュニアスポーツがあり、心身とも鍛える学童体育の充実が重要と考える。

各施設の整備と学童体育の振興に対しての考えは。

の定着、地域に開かれた特色ある学校づくり、読書活動の推進を図る。

Q 事故防止対策

今年の四月に発生した小学生の溜池転落事故に対する行政側の対応は。危険箇所の点検はされたか。事件、事故を風化してはならないと考えるが今後の対策は。

A 長田市長

事故が風化しないように早急に対策をとりたい。

Q 事故防止条例の制定

二百三十五件もある吉岐市条例に、市民の生命・安全を守るべき条例がない。これは大変危険な状態である。市民を守ると言う観点から条例制定の考えがあるか。

A 長田市長

検討したい。

平畑 光 議員



Q 市庁舎の
早期建設を

吉岐市が合併して、早三ヶ月が過ぎようとしている。現在、吉岐市では郷ノ浦の郡民センターに

本庁舎を、郷ノ浦支所に税務課、教育委員会。芦辺支所に選挙管理委員会、監査委員会。石田支所に農業委員会。福祉事務所に市民生活部。勝本文化センターに市議会場、議事事務局と、島内に分散して業務が行われている。この様な状態では機能が十分に果たされているとは思われない。また、この文化センターは以前より、各種文化団体の活動

A 長田市長

合併の効果を出すためにも、早く建設する必要がある。本庁舎の位置を

が盛んに行われていたが、今では支障をきたしている。吉岐市発展のためにも十年間活用できる合併特例債をもって、合併協議会で決定されている勝本町亀石地区に早期に本庁舎を建設すべきである。

現在の所から変更する場合は、出席議員の三分の二以上の同意を必要とする。



新庁舎建設候補地（勝本町亀石地区）



ふれあい広場（芦辺町諸吉大石触）

鵜瀬 和博議員



Q 少子化対策
支援

な問題も多面化している。幼稚園の預かり保育、学童保育を実施したらどうか。新公立病院での病児保育が出来ないか。また、不妊に悩む夫婦の不妊治療費の経済負担は大きい。不妊治療費助成を。

ついては、保育士・看護師・医師などの専門家が関わるトータルケアが必要であり研究したい。不妊治療費助成制度については、県で検討中でありその状況を見て検討したい。

柔軟で機能的で、しかも簡素な行政組織を構築するために縦割り行政に縛られず、こども課・おとしより課等、部課係を統合再編することにより、機動性が高まると思う。わかりやすい機構改革を。

を検討したい。

A 長田市長

あずかり保育についてはアンケートを行い、参考にしたい。病院保育に

Q わかりやすい
機構改革

行政需要の多種多様化、専門化するなか、住民ニーズや利便性に合致し、

A 長田市長

発足したばかりであり、いましばらく状況を見た上で、組織機構の在り方

江川 連議員



Q 農業奨学金
制度の導入

一次産業の振興を唱えているが、農業振興とは農業で食える農家を作る事である。農業とて同じ

こと、これまでも振興という名のもとに大きな予算を注入し、確かに多くの圃場が整備され農道も舗装になり、その環境は整ったにもかかわらず農民は減少していく。特に若手層の就農者は激減している。たとえ後継者が農家を継いでも農業で食えなければ他に仕事を求めていく。これでは専門の知識も技術も身に付かず意欲も湧いて来ない。

なぜか。それは農家に誇りが無いからだ。だから農家を離れるために勉強させる。これでは農業が発展するわけがない。そこで意欲ある若者に、まずは（少数で良い）農業を

A 長田市長

県農業大学校等の活用をまずお願いしたい。他の大学奨学金制度との均衡を図りながら検討したい。



農業後継者たち（吉岐風民の郷圃場にて）



元気に遊ぶ子どもたち（吉岐保育園にて）

立川 省司議員



Q 特別昇給制度の見直し

地方公務員の基本給を退職日に引き上げ、退職金を増額する「特別昇給制度」は、自治体の財政難の中で「お手盛り支

給」との批判が全国的にも強まっている。「財政改革」を公約としている市長の見解を求める。

A 長田市長

県内の状況を見ながら制度の廃止を含めて見直したい。

Q 少子化対策

政府は子育て支援社会の実現を「国の最優先課題」と位置付け、現社会

保障制度を見直し、次世代育成支援に予算を重点配分する計画である。吉岐市の少子化対策について市長の見解を求める。

A 長田市長

住民アンケートを実施し、エンゼルプランを策定するとともに、具体的な施策を講じたい。

Q 廃車対策

島内の環境美化への取り組みとして、野積みや不法投棄の廃車の処分は早急に対策を講じる必要がある。リサイクル法の施行を前に市民や関係者に周知徹底の必要があると思うが、市の対応はどのようになっているか。

A 長田市長

新車購入時、車検更新時に平成十七年一月から

リサイクル費用の負担が義務付けられる。今年中であれば、一台三千〜六千円程度で処分が可能（許可業者が出来た場合）。法が適用になれば、月に提案したい。



廃棄処理を待つ自動車

久間 進議員



Q 三島架橋の早期実現

姉妹、

離島の離島である三島地区は、多くの問題を抱えている。人命、防災等

一例を挙げても、急病の時の救急搬送に至っても解決策がないのが現状である。これらの問題を解決するためには、架橋の実現しかない。

今後、吉岐市が問題として

している環境問題の中の誰もか嫌がる吉岐市の迷惑施設を大島に受け入れる事を提言する。このような架橋の実現に対する三島住民の切実な気持ちを理解の上、何とか足掛

かりをつけていただきたい。事業費は五十億円と聞いている。このようなことを踏まえ、市長の公約である架橋問題をどう取り組むか。

A 長田市長

現段階では、足掛かりさえつかめない状況であるが、要望、陳情を重ねていきたい。



長島～大島間に架かる珊瑚大橋

東谷 伸議員



Q 生ゴミ対策

市長は主要政策で生ゴミ堆肥化での有効利用を揚げたが、収集方法はどうするのか。また、吉岐の燃えるゴミは毎日二十

ト中に、生ゴミは推定六ト。堆肥化するなら差引一日十四トの焼却能力で済むと思われる。それを一日三十六トも処理能力の大規模焼却場を作ろうというのは、市長の行財政改革と根本的に矛盾する話ではないか。

A 長田市長

生ゴミ分別の難しさ、生ゴミ収集体型の困難さ等考えると、生ゴミと尿のコンポスト化は無理

と考える。今後ゴミを大量に排出される事業所等のご協力をいただいで、堆肥化処理が出来ないか検討したい。

Q 油の価格対策

市長は選挙の演説会で、「吉岐の油の価格は高く、大型備蓄タンクを作ると十億節約できる。これは私にしかできない。」とライオンのように力強く言った。その建設費はどのくらいか。また、財源

は何か。関係団体が消極的ならできないのでは、牙を折られたライオンのような答弁では困る。公約は守るべきではないか。

A 長田市長

前提として、農協・漁協・石油商業組合の関係諸団体との協議が必要。その場合、市も応分の協力をする。タンクの設置については、五百キロリットル一基五千万円程で六、七基あればい

平尾 典子議員



Q 公立病院に人工透析室を

島内人工透析患者約七十名は、民間二病院にて医療を受けているが、島外十数名さらに糖尿病合併症などで透析医療を受

けなければならなくなる人が確実に増える。自治体病院として医療水準の向上と設備整備の住民ニーズに応える施策のひとつとして、市長の政治的手腕で、ぜひ実現してほしい。

A 長田市長

緊急透析用として、二台の整備計画をしている。また、患者の動向を見ながら四、五台の整備が可能なスペースを確保して

Q

子ども達を野に放して

子ども達を地域で育むための基本的な方針と、具体的なプランはあるのか。子ども達の感性を高めるためには、自然に囲まれた島のあらゆる場所を有効に利用して、体験をとおした育みが必要。

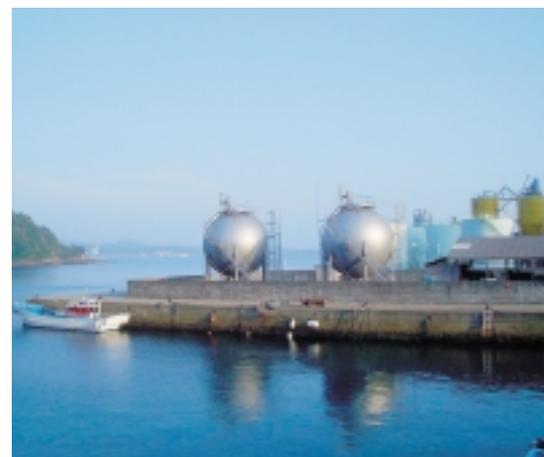
A 長田市長

具体的プランとしては、県教育委員会のタフ事業が十六年度最終年度となるが、定着と発信を合言葉に、十七年度以降、独自の事業として検討中。

吉岐国博物館の建設計画で、体験・交流・イベント等の機能や、星空観察施設等を計画している。レンタサイクルやシャトルバスの導入等も考えたい。



みんなで楽しい水遊び(勝本保育所にて)



石油備蓄タンク(郷ノ浦町宇土湾)

いのではないか。構造改築しているが確認できていない。善事業補助金があると聞

神原 伸 議員



Q 行財政改革は
庁舎建設から

本庁、四支所体制では無理と無駄が多くあり、市民から不満の声が出ている。行財政改革の第一歩は経費の節減、即ち人件

費対策である。この両方を解決するには早期に庁舎を建設することである。今定例会に庁舎建設場所の提案はできないか。市職員六百九十三名、嘱託職員百九十名、この人件費約六十四億円。自主財源（市税、使用料等）約四十九億円である。老人ホーム、保育所、幼稚園の人件費は、ほとんど一般財源でまかなわれている。人事部を設置し、今から十年間雇用を見合わせる必要があるはしないか。

A 長田市長

合併前の協議で、四支所の合併前の機能は出来るだけ維持するとされていたが、不都合も生じており、急を要するものは早く見直したい。抜本的には、行財政診断等の結果を見たい。

民間委託については、サービスが低下せず安心が保証できるかが問題となる。

Q 変な繰越明許費

今宮地区の町営住宅事業で、繰越明許費が示されているが認められない。今後の事業展開もあやしい。解決策は即刻中止する事と思う。

考えはない。

A 長田市長

変更に伴う建築確認申請の続き中であり、着工できる日程が決まれば請負業者とも協議することとしている。中止する



造成中の今宮住宅建設地（郷ノ浦町永田触）

町田 正一 議員



Q ゴルフ場の取組

昨年、旧三町においては、議会で拡張反対、現九ホールでの経営再建を目指すべきであるという決議がなされている。市

長は、明日のゴルフ場の取締役会にどのような立場で発言するのか。また、拡張工事についてはどう考えるか。

A 長田市長

出資金の引き上げについては出来かねるが、経営から手を引くべきと考えている。工事については、現在の社会情勢、経営状況の中で、着工することはいかなるものかと考える。

Q 行財政改革
委員会

市長は選挙公約の重要な柱の一つとして委員会を立ち上げ、民間人の参加を求め、行財政改革の積極的な推進を示した。改革にはスピードと市民にわかる公開性が必要だがタイムスケジュールと内容は。

A 長田市長

委員会は七月立ち上げ十月に中間答申の予定。

Q 市営の居酒屋を

観光協会にも大いに期待しているが、第一次産業は輸入の増加等で困難を強いられている。吉岐産の魚、農産物、焼酎などで、市営の居酒屋全国チェーンを作っては。

A 長田市長

ユニークでおもしろい

発想であり、検討してみたい。



吉岐カントリー倶楽部

久間 初子議員



Q 医師住宅の整備

移譲にあたり病院の整備改善はなされたが、着任して来た医師の住宅は老朽化して人の住める状

態ではない。床は根太が落ち置は古く、風呂、台所等が使用できるには程遠いものだったと聞いている。良い環境の中に住んでもらってこそ、診療に専念してもらえるもの

と思う。管理者の受け入れ態勢の不備を指摘する。

A 長田市長

国からの移譲の時に、内装については補修を

行っているが、老朽化も進んでおり、受け入れ態勢を含め改善する。

Q 条例違反への対処

公営住宅条例では、住宅での動物の飼育は禁止されている。今回郷ノ浦支所管内で三件ほど改善命令が出され、改善なき時は住宅の明け渡しを余儀なくされている。今回は近隣の通報のみで文書

A 長田市長

合併を機に「入居者のしおりを」新たに作成し、全市営住宅に配布して、指導を強化する。入居者の方も、ルールを守り、楽しい暮らしとなるよう

通達がなされているが、全体を調査し平等に取締をしてほしい。条例違反であれば市全体を見て改善すべきと考える。

深見 忠生議員



Q 職員教育の徹底

地方分権一括法が制定され地方自治が新しい時代を迎える中、個性豊かで活力に満ちた地域社会

を実現するため、地方自治を担う人材の育成が益々重要になっている。本庁が狭隘で職員の勤務地も分散し、業務に於いてもいろいろの問題が起きている。民間出身の市長として市民の負託にこたえるためどのような職員教育を行うのか。

A 長田市長

現在、吉岐市職員人づ

Q 牛のへい獣処理施設

和牛の振興については力強い支援策が執られているが、現在の市のへい獣処理施設では地域が限定されたうえ満杯状態と聞いている。旧施設で対

A 長田市長

現在でも要望は多いが、処理施設は不足している。焼却施設の建設については、農協からの要望もあ

り、施設建設の方向で努力したい。

ご協力願いたい。



芦辺町家畜廃棄処理施設（芦辺町深江平触）



改装された医師住宅（かたばる病院裏）

行政調査報告

議長 瀬戸口 和幸

長崎県下町村議会で五月十日から十六日までの間、ドイツとスイスに行きましました。ドイツではフランクフルト市で介護福祉の状況を、スイスではチューリッヒ市とグリンデルワルド地方を訪れ、観光立国としての実情を調査しました。

一、ドイツ

ヘキスト地区とガートンブルク地区の福祉施設を研修しました。限られた時間と場所であり、ほんのさわりしか知ることができませんでしたが、もともと日本の介護方式は、先進地であるドイツを参考にしており、共通点も多く理解も容易でした。しかし、日本の介護への取り組みがドイツの域に達するには、まだ大変な時間を要するようです。施設の入居待機者の問題、家族介護従事者への給付金の問題、そして、介護に当たる人の意識等解決すべき問題は多いようです。

二、スイス

自然を守り、環境保全

に留意しつつ観光開発に努め、更に、世界の人々が訪れる国を目指し交流の場の提供、そして、世界の金融の中心となるべく国際金融施設の誘致等、長年に亘る雄大な構想に基づく国づくりが、今のスイスの存在となっているようです。長い年月を費やして少くない制約にも耐え、国としての目標に向かって一丸となつて進んで行こうと取り組む国民の意識の高さに触れ、私達の吉岐も「観光立島をめざす」と言葉では簡単に言うものの、その実現は生半可な取組では不可能であることを教えられたように思います。両国ともいかに自然と共生して行くかを追求し、更に、歴史、伝統を尊重し、自然と古き物を非常に大事にしているという印象を強く受けました。

ドイツの福祉施設にて



長崎県下町村議会 議員研修会報告



岩見隆夫氏による講演

さる七月一日諫早文芸会館において県下六十一町村議会および吉岐市・対馬市議会議員計千九十九名の参加による議員研修会が開催されました。本年は、千葉大学法経学部教授、大森彌氏の「分権改革と地域自治のゆくえ」そして、毎日新聞東京本社編集局顧問、岩見隆夫氏に「これからの政局展望」という演題で講演いただきました。

大森氏は行政学、地方自治論が専門で、著書に「地域福祉と自然体行政」、「どう乗りきるか市町村合併」などがあり、具体的な例を挙げながら、これからの分権改革と地方議会の在り方について話されました。

又、岩見氏はテレビや新聞でもおなじみの方で永田町のあれこれなど、普段私達には知り得ない中央政界の動向を聞くことができました。お二人の講演を聞いて地方議会のあるべき姿を再認識でき、意義深い研修となりました。

傍聴席から

郷ノ浦町
山川 和夫

6月17日、第2回市議会を午前中傍聴した。受付に質問事項一覧表が準備してあったので、それに目を通しながら議会の流れに耳を傾けることが出来た。

会場全体には良い意味での緊張感が漂い、質問事項の一問一問に、事前研究の跡がうかがわれた。

17日の傍聴の中で特に脳裏に残ったのが、学校統合の問題と、印通寺唐津間の大型フェリー就航による、港の整備計画だった。執行側の答弁で今後の方向性がよく理解できた。

質問一覧表を読んでも、同じ質問事項の重なりが目についたので、事前調整等で改善してほしい。

今後も数多く傍聴の機会を作りたいと思っている。

石田町
60歳女性

たまたま友人に誘われ壱岐市議会を初めて、しかも一時間程度傍聴しただけで感想など書けるはずもなくおこがましくさえ思います。石田からの傍聴者が少なかったということで私にお鉢が回ってきました。

まず、議場が広く議員さんや市関係者の人数の多さに目を見張り、新市壱岐のスタート情景を見る想いがしました。船に例えて、新造船壱岐丸に相応しく安全で、効率的な、宝船の航海を願っています。

そして、質問者も答弁する方も、ある時は原稿から離れても、生で本音で、深まりのある議論があったら傍聴者も感動するのではないかと思います。

議会だよりの発行は、大変よいことと思います。議会終了後の報告だけでなく、事前に質問者や議会の内容等を知らせていただいたり、各議員さんの日頃の政治活動の状況なども紹介していただいたりすると、市民の政治に対する関心がもっと高まるのではないかと思います。

編集後記

夏まつ盛り、暑中お見舞い申し上げます。
長田市長就任後、初めての六月定例議会も六月十一日から、六月三十日までの二十日間、全議案可決されました。

一般質問は三十七名の質問がなされ、広報委員も取りまとめるのに一苦労でしたが、ようやく市民の皆様様に配布の段階となり、ホッとしています。

今後とも委員八名一丸となって、市民の皆様様に親しく読みやすい広報誌作りに努力いたします。皆様のご意見、ご要望等お寄せ下さい。

また、次回
の議会にも多数の方々の傍聴をお待ちしています。



議会だよりの

第2号

平成16年8月10日

発行 / 壱岐市議会

編集 / 議会広報特別委員会

〒811 5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5

TEL 0920 42 1111

FAX 0920 42 0096

E-mail gikai@city.iki.nagasaki.jp

議会だよりは

壱岐市ホームページ

(<http://www.city.iki.nagasaki.jp>)

にも掲載しています。



この議会だよりは、古紙配合率100%再生紙、環境に優しい大豆油インキを使用しています。